

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、今年度より「四日市版コミュニティスクール」として歩み始め、下野・八郷西両地区などの支援のもと、「防災@にしあさけ」の開催や地域行事への積極的な参加を通して、下記のねらいに基づき「地域とともにある学校づくり」を目指して教育活動に取り組みます。

- (1) 地域とともにある学校をめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に起点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- (4) 今日的な教育課題について、学校外からの視点を加えて検討を進めることでより効果的な課題解決を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<世代をつなぐ地域防災訓練「防災@にしあさけ2019」の実施>

6月15日（土）に、今年度で第6回目となる「防災@にしあさけ」を実施しました。地域と関係団体の方々との協力のもと、第1部は講演会、第2部は学年別体験学習、また、PTAによる非常食の炊き出しが行われ、昼食は「わかめご飯」を試食しました。体験学習などを通して、生徒は災害発生時の対応や、地域住民として援助する側として何ができるか学びました。



【講演会】



【1年生防災マップ発表】



【2年生自衛隊によるパネル展示と講義】



【3年生HUG(避難所運営訓練)体験】

<地域行事への積極的な参加>



【八郷西夏まつりボランティア】

【下野地区文化祭バザー】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ・ 運営協議会の設置により、豊富な知識・技術・経験を持つ保護者や地域で活躍されている方々などに本校の教育活動内容や生徒の様子を知っていただくことで、様々な視点から意見をもらい学校を改めて客観視できるようになりました。
- ・ 生徒が作成した地域防災マップを地域の人にもっと見てもらえるようにと、今年から校区内の銀行や郵便局、地区市民センター、公民館などに展示することができました。
- ・ 年度末には学校自己評価の結果をもとに本年度の反省と来年度に向けてのご意見をいただきました。特に、学校関係者評価では、「少人数指導の充実」「生徒指導の充実」「読書活動の推進」「地域連携」について具体的かつ温かいご意見をいただき、来年度の方向づけができました。



3 今後に向けて

(1) 生徒の現状から見える課題

- ・ 委員からは、どのクラスも落ち着いた雰囲気の中で授業が実施され、特に、今年度から始まった少人数指導（全学年の数学で習熟度別編成授業、2・3年生の英語で少人数授業）では、数学で学力の底上げが進み生徒が安心して授業を受けている様子には好感が持てるとお言葉をいただきました。今後は、ご指摘いただいた上位層の生徒をどう伸ばすか、中間層の生徒の指導をどうするかを教科部会を中心に検討し来年度の方針を決定します。
- ・ 本校の最重要課題である不登校生徒対策では、不登校生徒の学力保障についても引き続ききめ細やかに対応するとともに、関係機関や地域の民生委員との連携を密にして対応を行います。
- ・ 生徒は地域内でのあいさつは徐々にできるようになってきているとの評価を受け、普段の学校生活から場面に応じた言葉遣いや振る舞いに気を付けていく指導を引き続き行っていきます。
- ・ 今年度は夜の会議の回数が多かったため、次年度は、年度末に学校自己評

価アンケートに回答することも踏まえ、運営協議会を生徒の様子が見える
昼間の時間に設定することも計画していきます。

(2) 教員の参画と運営協議会の組織について

今年度は、運営協議会の組織づくりとその円滑な運営に主眼を置いて進
めてきました。初年度は管理職が運営協議会と教員のパイプ役となること
で、運営協議会のねらいや今後の方向性を教員と共有しながら第1歩を踏
み出すことができました。今後は、コミュニティスクールの取組が教員の中
に定着し、教員の参画意識を持たせられるよう、運営協議会の出席者に
教務主任を加えたり、生徒指導など各部会の主任から取組を発信する機会
をもつことなどを検討していきます。

(3) 地域とともにある学校づくりの推進

- ・ 支援等で保護者・地域がどこまで入ったらよいのか、まだまだ中学校の敷
居は高く入りにくいとの指摘を受けました。学校は、「どんなことに取り
組んでいるか」「何が必要か」「何に困っているのか」などを積極的に情報
等を発信していく必要があります。
- ・ 今年度の全国学力・学習状況調査（4月18日実施）の生徒質問紙で、「地
域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考
える」において肯定的な回答をした生徒が多く、本校の強みとなっています。
委員からは、6月の「防災@にしあさけ」で、他団体とも組んで防災
教育を実施していることに高評価をいただき、「今後は地域とともに心を
育てる防災教育になるとさらにより」とご意見をいただきました。昨今、
「社会の一員として」「防災の担い手として」活躍できる中学生の存在が
注目されています。地域防災訓練などを通して、地域に貢献できる人材を
育成するだけでなく、地域とのつながりを大切にした教育活動を実践し、
社会に開かれた学校を目指します。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立西朝明中学校

委員長 野呂 親信

校長 三谷 雅人

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回運営協議会 (24日)	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会より委嘱状交付式 ・運営協議会組織確立について ・学校づくりビジョンについて等
5		
6	第2回運営協議会 (15日)	「防災@にしあさけ2019」地域防災訓練参観と評価
7		◆四日市版コミュニティスクール運営協議会委員研修 (6日)
8		
9	体育祭参観 (12日) 第3回運営協議会 (19日)	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期から夏季休業中の様子の報告 ・これまでの教育活動の感想と評価 ・今後に向けて
10		
11	文化祭参観 (1日) 第4回運営協議会 (19日)	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の教育活動の報告と感想・評価 ・学校自己評価検討等 ◆四日市版コミュニティスクール運営協議会委員長会 (18日)
12		
1		
2	第5回運営協議会 (13日)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・今年度の学校教育活動の成果と課題 ・学校自己評価集計結果などを基にした学校関係者評価と次年度に向けて ・リーフレットの最終確認等
3		